

駒の子短歌

No.33 令和2年10月26日(月)佐久市立望月小学校

バスの移動では、駐車する機会が幾度もあります。狭い駐車枠でも、いつもきりかえなしの一回でその枠に駐車していました。子どもたちもその運転技術に気づき、感心していました。おかげで、移動にロス時間がなく、予定した見学が十分にできました。

車庫入れもきりかえなしの一回で
安全安心。プロの運転



一番すごかったのは、バスガイドさんからの話でした。バスガイドさんは私たちが通る道を知っていて、「この先はここがきれいですよ」というように教えてくれました。また、千曲川のことでも詳しくかったです。秋のきれいな紅葉を見ることもできました。そして、ガイドさんからはなぞかけクイズなども出してもらいました。ガイドさんの話で、「ここがすごいところなんだ」と思ったりもできました。難しい話もあったけど、とても分かりやすい説明でした。

ガイドさん学ば内容吟味して
思いをこめてマイクを握る



「水ぐもの術」という失敗すると水の中に落ちるアトラクションがあり、寒い日でしたが、覚悟を決めて挑戦した人がいました。「挑戦する力」は本校で大事にしていることの一つです。

落ちてもいい覚悟と決めて忍術と
身につけたいと水ぐもの術



動物園では、たいくつそう動物がいて、かわいそうでした。「大きくて、いつもは動き回る動物が小さなおりの中に入れられるのは、とてもきついんだろうな」と思いました。

(感想から抜粋)

動物園の方々がお客さんのため、また動物たちのために一生懸命に努力されていることはよくわかりました。でも、動物たちはどう思っているのかな?とも思わずにはいられませんでした。

はるかなる国から日本へやってきました
動物たちの思いはいかに

